

令和5年度 学校経営計画 年度末評価

分掌	達成目標	達成度	評価分析
総務部	学校行事の保護者出席率65%（全行事のべ率）	A	体育祭・文化祭の保護者人数制限等がなくなり、出席者数が増加している。（文化祭の来校者数は1,200人以上）
	美化委員会の実施（年間4回実施）	100%	美化委員会を予定通り4回実施。
教務部	地域や高大接続連携校、卒業生等多様な連携による総合的な探究の時間を年3回計画する。	100%	総合コース：地域企業との連携・発表会の実施 選抜コース：連携校との交流 食育：地域企業との連携・商品開発
	ICTを使用した研究授業の実施、および授業評価アンケートを100%実施する。また肯定的評価85%以上を求める。	100%	ロイロノートを使った研究授業の実施、各教科での満足度アンケート評価目標達成。
	各コースの特性を活かした探究活動の実施。授業観察年2回実施。	100%	総合・選抜・食育とコースの特性を活かした探究活動の実施が行えた。
	国際食育デザイン科の専門科目における1単位35単位時間の厳守のための行事予定変更・時間割設定を行い、長期休暇中の補充を5日以内にする。	95%	3学年とも平均すると5日以内の補充日数となり、目標は達成された。
情報部	授業内での利用目的の達成度評価（定期考査素点、タブレットを用いた提出物）を行う。	B	一部の教員に利用が偏ってしまっていた。
	ICTを活用した授業の公開（相互授業見学）と研修を実施（研修6回以上）および20代～30代教員のAppleTeacher取得100%。	B	ICTを活用した授業の見学は行えなかった。校内研修を6回実施したが全ての回で参加数が少なかった。AppleTeacher取得率86.9%
	各アプリの利用と効果についてアンケート（教員・生徒）を実施する。（実施率100%）	100%	各授業のアンケートの内容に項目を設けて100%実施した。
進路指導部	Classi事前/事後学習配信100%	91.7%	次年度Classiの利用が終了するが、ICTを利用した学習は継続できるように検討する。
	進学希望者のオープンキャンパス参加率 3年100% 2年70%	3年100% 2年59.7%	2年生に対しては意識が低いだけでなく強化指定クラブなどがなかなか参加できない現状も含まれる。
	3年生の希望進路実現率100%（進路実現者数/進路希望者数）	96.7%	概ね希望通りの進路を実現させることができた。
	情報共有・研修会の実施 年5回以上かつ関係教員の参加率80%以上	6回 59.8%	課業日の放課後などは生徒対応や部活指導などのため参加率が低かった。研修のための時間確保の方策を検討する。

分掌	重点目標	達成度	評価分析	
生徒指導部	いじめ防止・対策にむけてアンケートを2回以上実施	100%	長期休暇中前にアンケートを実施。	
	校外指導を5回以上実施	50%	考査後に郊外指導を実施。	
	遅刻防止・ベル着に向けたの時間を守る指導を5回以上実施	100%	遅刻防止週間を年に5回実施。	
	頭髪・服装・身だしなみ指導の服装指導を3回以上実施	100%	各学期初めに頭髪・服装指導を実施。	
	アルバイトを希望する生徒に対する指導を4月に行いその後は随時実施実施	100%	希望者に、一人一人規定を説明。学業第一であることを確認、説諭。	
	自転車マナー・スマートフォンの使い方・防犯対策など安全教室を2回以上実施	100%	各学期ごとに講演会を実施。生徒への危機感を持たせた。	
	正門での挨拶運動を毎日実施	100%	生徒の様子を確認し、声掛けを実施。	
	保健	毎週連携強化のため、教育相談・生徒指導・カウンセリングとの情報交換を行う	80%	組織的に連携しているとは言えないため
		保健だよりの毎月の発刊	100%	毎月発刊できている
		カウンセリング実施日 48日	100%	実施できている
健康教室の実施回数 3回		100%	実施できている	
広報部	年間10回以上実施するオープンスクールにおいて参加者満足度90%を達成する。	C	1 OS アンケート(回収率98%)入学したくなった40%・もう少し考える60% 2 OS アンケート(回収率100%)入学したくなった58.2%・もう少し考える41.8% 3 OS アンケート(回収率91%)入学したくなった71.9%・もう少し考える28.1%	
	ホームページ・インスタグラムについて週5回以上の投稿を実施する。	A	週5回以上の投稿を達成し、今年度末でフォロワー数866を獲得した。300以上のフォロワー増。(昨年度評価時点でフォロワー数540)	
	掲示板について月12回以上の掲示を実施する。	A	月12回の掲示を実施した。このほか横断幕掲示もを行い、継続して地域へのアピールを行っている。	

分掌	重点目標	達成度	評価分析
普通科総合コース	「知ること」で視野を広げ、また社会に目を向けることに興味を持った。	A	自分自身だけでなく、他者の視点に立って物事を考える学びを行った(1年生) これまでの学びが生徒の中でつながり、社会にある矛盾に対し、立ち止まり考えることができた。(2年) 広島県内の企業と関わり、企業が抱える課題の解決案を模索した。(3年)
	学ぶことで自分自身を振り返ることに繋げ、積極的な行動に移すことができた。	A	企業が抱えている問題を生徒自身が考え、発表を行った。(1年生) 社会にあふれる問題を自分事として捉え、問題解決へと行動に移すことができた。(2年) 3年間で学んだことを活かし、進路実現に向け計画的かつ主体的に進路と向き合うことができた。(3年)
	フィールドワーク、体験型授業の参加率90%以上。	A	広島の4つの企業が抱えている問題を考え、実際に企業見学を行った。(1年生) 5つのゼミに分かれ、それぞれが実体験の学びから、意欲に繋げた。(2年) 興味のあるフィールドワーク先に赴き、前向きに学ぶ姿勢を見せることができた。(3年)
普通科選抜コース	学力の指標として模擬試験の偏差値向上(取り組み姿勢, 試験後の解き直し指導)	C	模擬試験の取り組み方を改めることはできなかった。各教科に依存してしまっている状況を見直す。
	実用英語技能検定を全員受験(3学期実施)	A	1, 2年生(41名)が全員受験をし、準2級7人、2級1人取得している。
	国公立大学受験者5名(3年生18名中)	C	4名が国公立大学を受験し、1名が合格した。
	出前授業の実施回数を全学年合計5回	B	実施は1回。出前授業の回数で評価することは見直しが必要。
	個人研究発表会の実施(2月実施)	A	2月に発表会を実施し、全員が研究についての発表を行った。
	連携大学との交流・出張講義受講・訪問	A	APUに加えて関西方面の有名大学への訪問も行った。関西大学とは出張講義や講演会も行った。
	進路相談会などのイベントへの参加3回	B	6月に1回参加し、国公立大学や有名私立への進路意識を高めた。
国際食育デザイン科	放課後や家庭での実技練習・学習の場の設定	A	1年生を中心に放課後の実技練習希望者が増加した。
	参加するコンテストの精選, 入選率向上(外部コンテスト8点以上)	B	8点(学校賞も含む) 冬休みは応募作品を学校で指導する機会を設定した。
	各種イベントへの参加と校内実施の定着(食育生徒数×延べ1回以上)	B	延べ0.9回(137人延べ122回) 1人1回以上の参加を呼び掛けた。
	専門性を生かした進路実現者数の増加(70%以上)	A	専門性を生かした進路78%(35名中27名) 食の学びを深めることを可能とする進路を多くの生徒が選択するよう支援できた。